

## イベント

### 水仙まつり

とき / 1月10日(土)~11日(日)

場所 / 越前水仙の里公園



水仙ドームは、1年中水仙を見ることができます。



毎年行われる水仙まつり

## 地図案内

# Map



越前水仙(居倉地区)



水仙ミュージアムの敷地内には水仙の直売所があります。

# ふるさと 探訪

## 越廼村

Koshino Village

越前海岸のほぼ中央に位置する越廼村は、一年を通じて潮の香りと花の香りを楽しむことができます。越前海岸は、房総半島と淡路島に並んで日本水仙の三大群生地の一つ。その中でも日本一の栽培面積を誇っています。

越前水仙とも呼ばれ、県民の皆さんに親しまれているこの水仙をさらに多くの人に興味を持ってもらおうと越廼村には水仙をPRするいろいろな施設を設けています。

一年中、水仙の香りと可憐な花を楽しむことができる「越前水仙の里公園」。メイン施設の水仙ドームは、室温が十三度以下に保たれ、約三千本の水仙が栽培、展示されています。

また公園内には、世界各国の水仙を集めた水仙広場や、観光客が水仙を摘み取ることができる水仙花公園などがあります。

国道をはさんだ高台には、水仙にまつわる歴史や文化が学べる「水仙ミュージアム」があり、水仙の原種や、園芸種などが展示、紹介され、全国でも数少ない水仙専門の資料館となっています。

越前海岸三町村では、毎年水仙の開花シーズンにあわせて水仙まつりを開催しています。来年は一月十日(土)から二月一日(日)まで開催。越廼村では、水仙まつり開催日初日の一月十日・十一日に、越前水仙の里公園で水仙切花体験などのイベントも行う予定です。

冬の越前海岸は、白いじゅつたんを敷き詰めたような水仙畑と越前海岸から望む海のコントラストが美しく、村全体に広がる花の香りが訪れた人を優しく迎えてくれます。

## 歴史見て歩き

### アッポツシャ (越廼村)

毎年2月6日、越廼村の蒲生地区では、「あっぱっしゃ」が行われます。口が大きく耳まで裂け、海草の髪の毛を振り乱した赤鬼が、「アッポツシャ、アッポツシャ」と声をあげながら、家々の行儀の悪いこどもを脅かして回る年中行事。アッポとは餅を意味し、アッポツシャは「餅(アッポ)が欲しい」がなまったものと言われています。

江戸時代から行われていると伝えられ、子どもたちがいい子になることを約束した親が鬼に餅を差し出すと、鬼は帰って行きます。

赤い面は「アモメさん」「アマメ」さんとも呼ばれています。

